

第6次八潮市総合計画基本構想について

総合計画は、市の総合的かつ計画的な行政運営を図るうえでの最上位計画です。第6次八潮市総合計画については、市民参加の取組として、「まちづくり掲示板」の実施や「まちづくりワークショップ」の開催など、幅広い世代の方から意見や提案をいただきながら検討を行い、「八潮市振興計画審議会」による審議やパブリックコメントを経たうえで策定しました。第6次八潮市総合計画基本構想については、2月号から3月号にわたって掲載し、3月号では分野別将来目標について紹介します。

問企画経営課 ☎885

[将来都市像]

第5次八潮市総合計画の将来都市像の考え方である「一人ひとりにとって、八潮市に住むこと、住み続けることを誇りに思える住みやすさナンバー1のまち」であることは、すべての市民に共通する目標であり、これからもまちづくりを進めていくうえで目指すべき姿であるため、第6次八潮市総合計画においては、この将来都市像を継承し、まちづくりの基本理念に基づき、本市の将来都市像を次のとおり定めます。

『住みやすさナンバー1のまち 八潮』
～住むこと、住み続けることを誇りに思えるまちを目指して～

[計画人口]

八潮市の計画人口：10万人

本市の人口は、第6次八潮市総合計画の計画期間中は増加傾向で推移し、計画期間後に人口10万人に達する見込みです。その後、人口10万人程度で一定期間推移し、将来的に緩やかな減少傾向を示す見込みとなっています。このため、本計画の計画人口を10万人と定め、今後の施策を展開することとします。

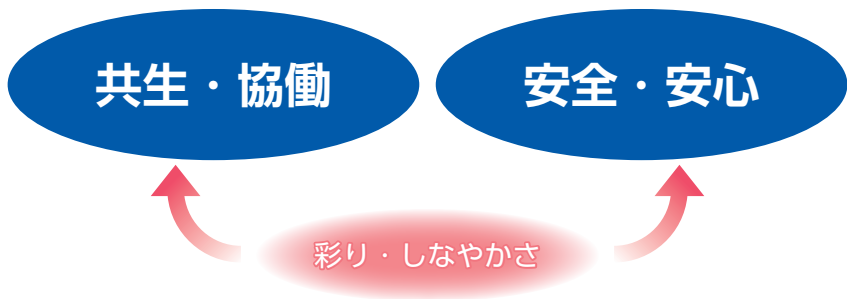
[土地利用構想]

「計画的かつ有効な土地利用」「安全・安心を実現する土地利用」「人と自然が調和し、持続可能な土地利用」の3つの方針に基づく土地利用を推進し、「住みやすさナンバー1のまち 八潮」の実現を目指し、下表のような「都市核」「地域核」を民間活力の活用により形成するなど、右図のような将来都市構造とすることを長期的な目標とします。

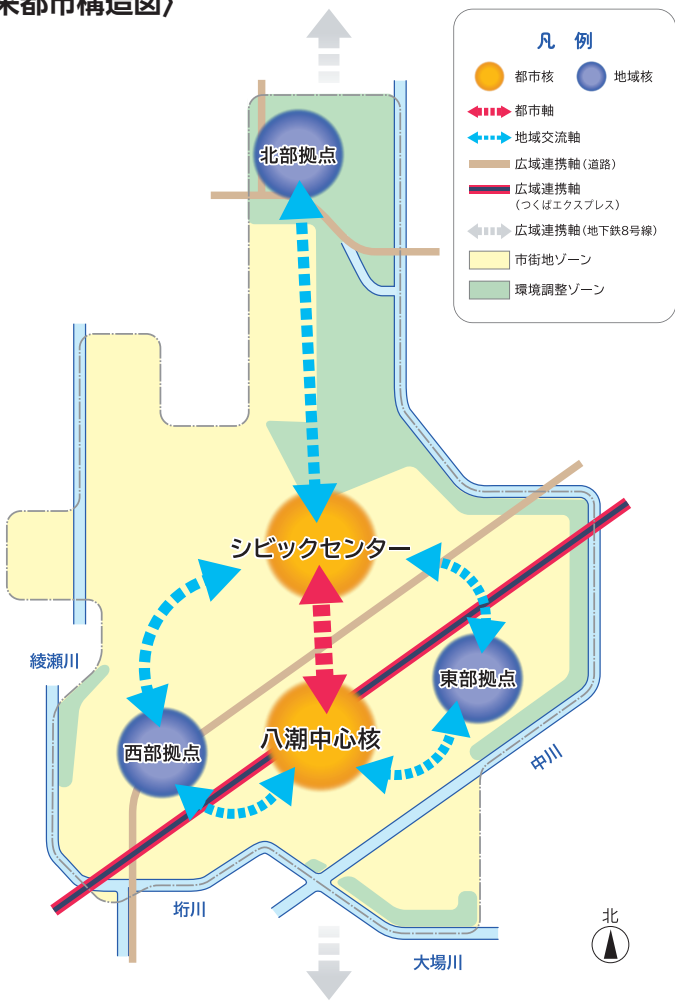
都市核	八潮中心核	商業業務施設や公益施設等の多様な機能の集積と既存機能の維持により核の形成を図る。
	シビックセンター	公益・文化施設等の多様な機能の維持・充実により核の形成を図る。
地域核	北部拠点	産業機能を主体とした緑豊かな拠点形成を図る。
	東部拠点	既存の公共公益施設等の機能維持に取り組むとともに、文教・レクリエーション機能の充実を主体とした拠点形成を図る。
	西部拠点	商業・文化機能等を主体とした拠点形成を図る。

[まちづくりの基本理念]

自治基本条例における自治の基本原則とまちづくりの基本原則を踏まえ、「共生・協働」「安全・安心」をまちづくりの基本理念とし、さらに、先行きが不透明な中にあっても持続可能な地域社会を構築していくため、多様な価値観や考え方を積極的に導入していく「彩り」と社会のさまざまな変化に迅速かつ柔軟に対応していく「しなやかさ」の新たな視点を取り入れてまちづくりを進めていきます。



〈将来都市構造図〉



第20回 川の駅・中川やしお花桃まつり 花桃ウォーキング参加者募集

3月14日(土)・15日(日)に、中川やしおフラワーパークで開催する「第20回川の駅・中川やしお花桃まつり」内のイベント「花桃ウォーキング」の参加者を次のとおり募集します。

問(一社)八潮市観光協会 ☎951-0323

日 3月15日(日)※小雨決行、荒天中止 午前9時やしお駅前公園入口付近集合・受付、午前9時30分出発
回 約4kmのウォーキング「やしお駅前公園入口付近→ケーズデンキ前→八潮中央総合病院→潮止小学校→ゆまにて→八潮南高校→専稱寺→花桃まつり会場(中川やしおフラワーパーク)・自由解散」(午前11時ごろ到着予定)
持 飲み物、雨具、手袋、帽子
装 ズボンまたはスラックス(キュロットスカート不可)、ウォーキングシューズなど

定 100人(申込順)
申 2月12日午前9時から、電話で(一社)八潮市観光協会(八潮市商工会内 ☎996-1926でも申し込み可)へ
※定員に達しない場合は、当日の申し込みも可



八潮市役所 ☎996-2111 市外局番は(048)です

日 日時・期間 場 場所 対 対象 内 内容 持 持ち物 定 定員 費 費用(記載がない場合は無料) 申 申し込み 問 問い合わせ